

新医学系指针对応「情報公開文書」フォーム

複数施設研究用

以下、本文-----

ドクターヘリが小児重症患者集約化にもたらした効果に関する後ろ向き観察研究

1. 研究の対象

2024 年 2 月 1 日から 2029 年 1 月 31 日の 5 年間に愛知県ドクターヘリを用いてあいち小児保健医療総合センターの救急搬送チームによって転院搬送された小児重症患者

2. 研究目的・方法・研究期間

研究目的) 本研究ではドクターヘリを利用した小児転院搬送の患者データを後ろ向きに調査し、記述的に分析することにより小児重症患者の搬送システムにおけるドクターヘリ活用の有効性を評価するとともに、搬送システムの改善に繋がる知見を得ることを目的とする。

方法) 他施設合同後ろ向き観察研究

研究期間) 倫理審査承認後～2030 年 1 月 21 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

<あいち小児保健医療総合センターが収集するデータ>

- 患者特性 (年齢・性別・体重・疾患名・疾患分類・既往歴)
- PIM-3 (Pediatric Index Mortality 3) による予測死亡率
- PICU 滞在期間・入院期間
- 転帰 (生存退院・死亡)
- PGPC (Pediatric Cerebral Performance Category) スケールによる脳機能評価:
PICU 入室時および退院時
- 搬送元病院から転院搬送依頼のあった時刻
- 小児救急搬送チームの患者接触時刻
- PICU 入室時刻
- 救急搬送チームの医療介入 (搬送元医療機関・ドクターヘリ機内)
- 陸送した場合の予測所要時間

等の情報

<藤田医科大学が収集するデータ>

- ドクターヘリ要請時刻
- 離陸・着陸時刻

- 飛行時間・距離
等の情報

本研究では患者の個人情報を持定できるデータは使用せず、匿名化されたデータのみを取り扱う。

4. 外部への試料・情報の提供

データについては個人を持定できる情報を除外した形で各施設の研究協力者によって共有のデータベースへ入力する。データベースは REDCap を用い、データの閲覧・入力には研究責任者および研究協力者のみに限定する。記述的統計により観察項目・評価項目を要約する。

5. 研究組織

- 研究責任者 救急科 医長 石川祥一郎
- 研究協力者 小児救命救急センター 副センター長 伊藤友弥
救急科 医長 池山由紀
救急科 医長 伊藤友理枝
救急科 医長 松永英幸
救急科 医長 安田真人
救急科 医長 向坂文治
- 共同研究機関の名称・担当者氏名
藤田医科大学 救急医学・総合内科学講座 主任教授 岩田充永
藤田医科大学 救急医学・総合内科学講座 病院講師 加藤千紘

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

あいち小児保健医療総合センター

部署名 救急科 研究責任者 石川祥一郎

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500 (代表) FAX 0562-43-0513

研究代表者：

藤田医科大学 救急医学・総合内科学講座 主任教授 岩田充永

-----以上